

江東豊洲病院
コラム
(毎月発行)

昭和大学江東豊洲病院 こども病院だより

～女性とこどもに優しい病院～

第2回 痛い、痛い飛んでけ！

けがをしてしまった時の対処法

幼稚園・保育園でこどもたちが元気に走り回っている光景は心とむものですが、こどもたちの健康と安全を管理する立場の先生方からすれば、「お願いだからけがしないでね。思いっきり遊ばせてあげたいけど、できればおとなしくしててね。」という気持ちも心の中にあるものと推察します。

転んで膝をすりむいたり、工作していて手を切ってしまったたり、園の生活では小さなけがは注意していてもしきれないものです。でも、実際に起こってしまったら、どうしたらいいのでしょうか？

というご質問をよく頂きます。

流水で傷をきれいにし、清潔なガーゼなどで傷をおおって、痛いところに手を当てて、痛い痛い飛んでけ！が基本です。

もちろん出血が続いている場合や大きなケガの対処法は別ですが、医療機関で治療が必要なけがなのか否かを見

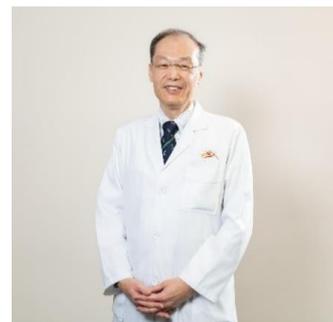
では、急いで医療機関を受診しなければいけない状態であるのか、否かを迷った場合にはどのようにしたらよいのでしょうか。

#8000または#7119へ電話しましょう。

「#8000」「#7119」はいずれも、こどもたちの急な発熱やけがの状態が、いまずぐ医療機関を受診する必要があるのか、救急車を呼んだ方がいいのかについて、看護師または医師がアドバイスをしてくれる公的サービスです。緊急性がないことが確認できたならば、次は具体的な傷の処置です。

けがの部位は、 丁寧に水洗いしましょう。

ケガした部位の周囲に流水やシャワーをあてて、周囲からケガした部位へ流れてきた水で汚れを洗い流すようにします。傷口に流水やシャワーを直接あてると、水圧で痛みが増してしまいます。周囲からやさしく流してください。



小児外科 責任者
吉澤 穰治 (よしざわ じょうじ)
好きな食べ物：たまごかけごはん
出身地：東京都

ただし、こどものたちのケガの部位には、先生方は決して素手でさわらないようにしましょう。先生方は必ず手袋を装着して、こどもたちの血液に触れないようにしましょう。

裏面に続く



「傷の部分を圧迫しても血がとまらない、止まりにくい」

という時には医療機関の受診が必要です。

「30分以上、1時間近く泣き止まない、痛みが続いている」

場合にも、治療を必要とする何らかの異常がひそんでいることがあるので医療機関受診が必要と思います。

消毒薬・軟膏などの薬は使ってはけません。

お薬を使うことを判断するのは医師と決められています。それ以外の方がお薬をこどもに使うことは法律で禁止されています。そのため、市販のお薬でもこどもたちに使うことはしてはいけません。また、消毒薬は傷が治ろうとする創傷治癒にとって悪影響を及ぼすことがわかってきたので、傷口には消毒薬を付けることはなくなりました。以前は過酸化水素水（オキシドール）、ヨードホルム液などを付けていましたが、現在ではおこなわなくなりました。きれいに洗った後は、

清潔なガーゼを当てるか、バンドエイド®などで傷口をおおってください。

表皮がなくなってしまった部位では、直接ガーゼを付着させると乾燥した時に傷にガーゼが強固に付着してとれなくなってしまいます。そのような時にはキズパワーパッド®は効果的です。これまで園で常備する必要は無いと思いますが、剥がすときに痛くないので、可能ならば準備しておいてもいいでしょう。

一番手軽なものとして、バンドエイド®などのガーゼ付き絆創膏をおすすめします。アトピー性皮膚炎が既往にあるこどもでは、長時間の絆創膏塗布は肌荒れの原因につながるがあるので要注意が必要です。

最後に

そして最も大切なことが、**「痛い、痛い飛んでけ！」**です。おなかが痛いときに、自然に痛い部位を手で押さえる仕草をしていることに気付いたことがありますか？頭が痛いときは自然に頭に手が行きますよね。流水でながし、バンドエイドを貼った上から、先生方は手を痛い部位に添えて、**「痛い、痛い飛んでけ！」**をしてあげてください。

これがまさに手当てなのです。こどもが痛がっている部位に手を添えてあげることで、こどもたちの安心感が高まります。みなさんもご両親に「痛い、痛いのとんでけ！」をやってもらった経験があると思います。本当に痛みが解消されるわけではありませんが、けがの経験の少ないこどもたちは、これからどうなってしまうのか不安でいっぱいです。大丈夫だよ。これでなおるよ！でいいのです。

医療従事者向けの方に対してWeb勉強会を実施しています。
一般の方もご視聴いただけますので、ご興味がある方は是非ご視聴ください。

昭和大学江東豊洲病院 YouTube

【テーマ】

「抱っこひも」に対する注意喚起

小児内科 責任者 阿部 祥英先生

【テーマ】

日常よくみる小児外科疾患

小児外科 責任者 吉澤 穰治先生

お手持ちの携帯でQRコード
を読み取りください。



※この動画は医療者向けで作成されているため、医療専門用語や、傷や部位など医療処置が動画で流れますので、予めご了承ください

受診のお手続きについて

- (1) 初診受付時間（月曜日～**日曜日**）
8：30～14：00
※時間外については救急センター
で対応しています
- (2) お問い合わせ
03-6204-6000（代表）
（ご予約が無くても受診は可能です）
- (3) その他
当院に関する情報は右記QRコード
をお手持ちのスマートフォンで読み
取りください。

